

推薦

医学のための サンプルサイズ設計

臨床試験・基礎実験・疫学研究

D. Machin・M.J. Campbell・S.B. Tan・S.H. Tan 著
田中司朗・末海美穂・清水さやか・土居正明 訳

A5判上製 560頁 定価：本体7200円+税
ISBN978-4-8140-0382-2 C3047

刊行予定：2022年5月12日 条件：新刊委託
読者対象：専門
おすすめ棚：医学
おすすめ度：★★★★☆

注文締切
4/25 まで

基本公式、研究例、現場で使える数表まで

研究デザインの考え方から基本的な公式、研究例、現場で使える数表まで、医学におけるサンプルサイズ設計の実践的な手引きとして30年以上にわたり好評改訂を重ねてきた教科書が待望の邦訳。臨床試験だけでなく、疫学研究、ゲノム研究、診断研究など広範な医学研究分野をカバー。サンプルサイズ計算を実装するためのソフトウェアつき。

◆手良向 聡 氏（京都府立医科大学教授）

我々のような臨床試験に携わる生物統計家（試験統計家）は、臨床試験におけるサンプルサイズ設計を行う際、すべての英知を結集しなければならない。本書にはその英知がぎっしりと詰まっていて、サンプルサイズ計算のためのソフトウェアがなかった頃、私は1987年発行の初版をいつも手元に置き、数値表を眺めていた。本書は、試験統計家およびそれを目指す人に必携の書である。

◆柳川 堯 氏（久留米大学バイオ統計センター客員教授、九州大学名誉教授）

症例数を、研究計画段階において適正に設定しておかなければ、臨床研究の結果はエビデンスとして受け入れられない。本書は、その基本および設定法を分かりやすく解説した世界で定評があるテキストの翻訳書である。

◆竹村 彰通 氏（滋賀大学データサイエンス学部長、東京大学名誉教授）

特に本書の後半では、医学研究で必要となるさまざまな実際のケースに応じてサンプルサイズ設計の詳しい指針や数表が与えられており、非常に役に立つ本である。

目次より

第1章 研究デザインの基本
第2章 研究デザインの詳細
第3章 2値アウトカム
第4章 順序カテゴリーアウトカム
第5章 連続アウトカム
第6章 率アウトカム
第7章 生存時間アウトカム
第8章 対応のある2値、順序カテゴリー、連続アウトカム
第9章 信頼区間
第10章 反復測定アウトカム
第11章 非劣性と同等性
第12章 クラスターデザイン

第13章 ステップウェッジデザイン
第14章 3群以上のデザイン
第15章 ゲノム標的と用量探索
第16章 実現可能性研究とパイロット研究
第17章 治療探索試験
—2値アウトカムに関する単群試験
第18章 治療探索試験
—生存、2重エンドポイント、ランダム化およびゲノム標的
第19章 相関係数
第20章 評価者間一致性研究
第21章 基準範囲とROC曲線

注文書 4月号③

お申込みは→ 京都大学学術出版会

FAX: 075-761-6190

京都大学学術出版会 発行/発売

番 線 印	冊	新 刊 委 託 指 定 様	医学のためのサンプルサイズ設計 【4/25 締切】 ISBN 978-4-8140-0382-2 C3047 定価：本体 7200 円+税
	ご担当		

取り扱い帳合：日販・トーハン・楽天ブックスネットワーク・西村書店・八木書店